USB Web カメラ UCAM-DLQ30 シリーズ スタートアップマニュアル

お使いになる前に

お使いになる前に、次の内容をご確認ください。

取り付け上の注意

・5V、500mA 以上の供給電力の得られる USB ポートに接続してください。
・ご使用のノート PC、デスクトップ PC の構造によっては、本台座でも設置できない場合があります。取り付け部の厚みが 70mm を超えるモニターには取り付けできません。
・台座にて固定できない場合は、平らな面に設置してください。

ご使用上の注意

・Web カメラのレンズは指で触れないでください。ホコリが入った場合などは市販のレンズブロアなどで取り除いてください。
・お使いのメッセンジャーソフトの仕様によって、VGA サイズ以上でのビデオチャットが行えない場合があります。
・お使いのインターネット接続環境によっては、各ソフトウェアがご利用いただけない場合があります。
・ハードウェアの処理性能によっては、音声品質、動画処理などで十分な性能が得られない場合があります。
・本製品の特性上、お使いの PC の環境によっては、スタンバイや休止状態またはスリープ状態に入ると製品を認識しなくなることがあります。ご使用の際には、スタンバイや休止状態またはスリープ状態になるような設定は解除してください。
・本製品が認識しなくなった場合は、本製品を一旦パソコンから取り外して、再度接続しなおしてください。
・本製品を湿気やホコリの多いところに設置しないでください。
・本製品に強い衝撃を与えないでください。
・お客様ご自身での分解、修理、改造は絶対にしないでください。
・ケーブル部を強く曲げたり引っ張ったりしないでください。
・コネクタに無理な力を加えないでください。
・お手入れの際には乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。
・Web カメラ利用時にはパソコンを省電力状態にしないでください。省電力状態にするときは Web カメラを利用しているアプリケーションをあらかじめ終了してください。

動作環境

Windows

CPU	Intel Pentium4 1.4GHz 以上
OS	Windows XP（SP2 以降）、Windows Vista™
メモリ	512MB 以上
HDD 容量	320MB 以上
グラフィックメモリ	64MB 以上
DirectX	9.0c 以降
その他	USB2.0 ポート（5V、500mA の電力が供給できること）ADSL などのブロードバンド接続環境 CD-ROM ドライブ

Macintosh

OS	Mac OS X 10.4.9 以降
CPU	PowerPC G3 以上 /Intel Mac 対応

※本動作環境においてもハードウェアの処理性能によっては、音声品質、動画処理などで十分な性能が得られない場合があります。
※本機は USB2.0 専用です。USB1.1 インターフェースには対応いたしません。

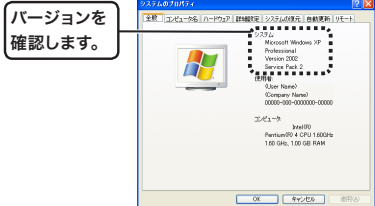
Web カメラの取り付けとセットアップ

Windows®XP/Windows Vista™で使用する

Windows XP のサービスパックの確認

Windows Vista™でお使いになる場合は、そのまま「Web カメラを接続する」に進んでください。

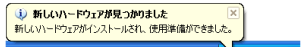
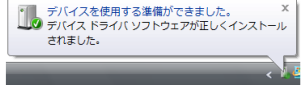
Windows XP で製品をお使いになる場合は、サービスパックが最新のバージョンである必要があります。
次の手順で Windows のバージョンを確認します。

1. スタートメニューを開き、[マイコンピュータ]アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
システムのプロパティが表示されます。
2. サービスパックのバージョンを確認します。

サービスパックが最新のバージョンであることを確認します。サービスパックが最新のものでない場合は、WindowsUpdate を使用して、最新のバージョンにバージョンアップしてください。
バージョンアップの手順については、お使いのパソコンの取扱説明書やパソコンメーカーまでお問い合わせください。
（2007 年 4 月現在の Windows XP の最新のサービスパックは Service Pack 2 です。）

Web カメラを接続する

1. パソコンの USB ポートに、Web カメラの USB コネクタを差し込みます。

パソコンの電源が ON のときでも抜き差しできます。
USB コネクタの上下方向を間違えないように、正しく接続してください。

2. Windows XP をご使用の場合は、タスクトレイに「新しいハードウェアが見つかりました」というメッセージが表示されます。

Windows Vista™をご使用の場合は、タスクトレイに「デバイスを使用する準備ができました」というメッセージが表示されます。

これで Web カメラが使用できるようになりました。

次に、カメラに画像が正しく映るかを確認します。
次の「正しく動作するか確認する」に進みます。

正しく動作するか確認する

付属の CD-ROM 内の「AMCAP」を使用して、画像が正しく映るか確認します。

「AMCAP」は画像表示を確認するために用意したものです。Microsoft のアプリケーションですが、Microsoft および弊社では、操作方法やサポートについてのお問い合わせは承っておりません。あらかじめご了承ください。

1. Web カメラをパソコンに接続します。
2. 「ソフトウェア & マニュアルディスク」を CD-ROM ドライブに入れます。
CD-ROM の内容が表示されます。

CD-ROM の内容が表示されないときは、CD-ROM を挿入した CD-ROM ドライブをダブルクリックします。

3. (AMCAP) をダブルクリックします。
ビデオキャプチャツール「AMCAP」が起動します。

「AMCAP」は必要に応じて、パソコンのハードディスクにコピーして使用することもできます。

4. 「Device」メニューをクリックして、「USB 2.0 Camera」にチェックがついていることを確認します。ついていない場合は、「USB 2.0 Camera」をクリックします。

5. 「Option」メニューから「Preview」をクリックしてチェックマークをつけます。
カメラの映像が表示されます。

Web カメラが正しく動作していることを確認できました。

本製品にはカメラの映像にエフェクトをかけて、楽しむことができるアプリケーション「EZVirtual Cam」を同梱しています。
「EZVirtual Cam」のインストールならびに使い方については、裏面の「映像にエフェクトをかけて楽しむ」をお読みください。

スチルシャッターによる静止画撮影（Windows XP のみ）

あらかじめ Web カメラを接続しておきます。

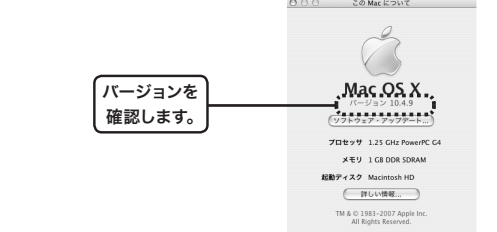
1. 「マイコンピュータ」をダブルクリックして開きます。
2. 「USB 2.0 Camera」をダブルクリックして開きます。
3. スチルシャッターを押すと、静止画の撮影が行なわれ、画像が一時保存されます。
サムネイルが表示されます。
4. 画像をファイルとして保存するには、サムネイル上でマウスを右クリックし、「マイピクチャに保存」を選択します。

Macintosh で使用する

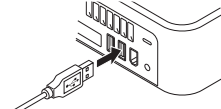
Mac OS X のバージョンの確認

Macintosh で本製品をご使用になる場合は、Mac OS X 10.4.9 以降であることが必要です。
次の手順で Mac OS X のバージョンを確認します。

1. アップルメニューから[この Mac について]を選択します。

2. Mac OS X のバージョンを確認します。

Mac OS X のバージョンが 10.4.9 以降であることを確認します。10.4.9 以降でない場合は、ソフトウェア・アップデートを実行して、「Mac OS X 10.4.9 Combo Update」をインストールください。
ソフトウェア・アップデートの手順については、Macinrtosh のマニュアルをご覧ください。

Web カメラを接続する

1. パソコンの USB ポートに、Web カメラの USB コネクタを差し込みます。

パソコンの電源が ON のときでも抜き差しできます。
USB コネクタの上下方向を間違えないように、正しく接続してください。

2. 自動的にカメラが認識されます。
これで Web カメラが使用できるようになりました。

次に、カメラに画像が正しく映るかを確認します。
次の「正しく動作するか確認する」に進みます。

正しく動作するか確認する

Mac OS X に付属の iChat を使用して、画像が正しく映るか確認します。

1. Web カメラをパソコンに接続します。
2. 「アプリケーション」フォルダ内の「iChat」をダブルクリックします。
「iChat」が起動します。

3. 「ビデオ」メニューから「ビデオプレビュー」を選択します。

プレビュー画面が表示されます。

4. プレビュー画面にカメラの画像が表示されます。

Web カメラが正しく動作していることを確認できました。

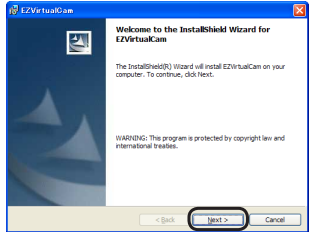
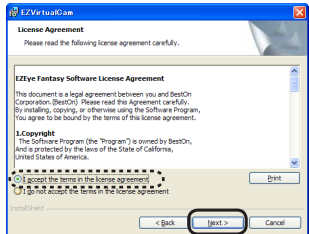
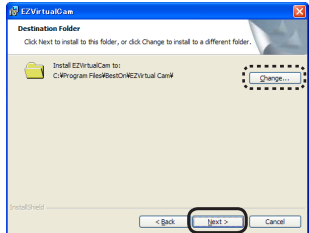
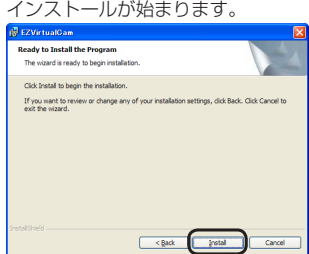
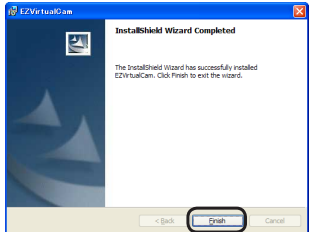
映像が、鏡に反射したように左右反転して表示されますが、これは「iChat」の仕様であり故障ではありません。実際のチャットでは、反転されずに相手に送られます。

映像にエフェクトをかけて楽しむ（Windows のみ）

Windows でお使いのときは、EZVirtual Cam を使用すると、Web カメラからの映像にエフェクトをかけることができます。

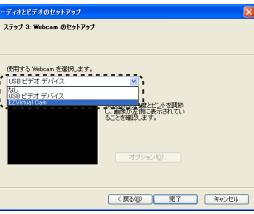
EZVirtual Cam のインストール

1. 管理者（Administrator）権限を持つユーザアカウントで Windows にログオンしておきます。
2. 「ソフトウェア & マニュアルディスク」を CD-ROM ドライブに入れます。
   CD-ROM の内容が表示されます。

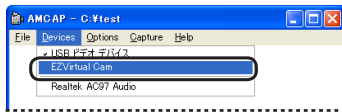
   CD-ROM の内容が表示されないときは、CD-ROM を挿入した CD-ROM ドライブをダブルクリックします。
3. 「EZVirtualCam_full.msi」をダブルクリックします。
   インストールプログラムが起動します。
4. Next > をクリックします。

5. 使用許諾契約書の内容を読み、内容に同意する場合は、「I accept the terms in the License Agreement」を選択して Next > をクリックします。

6. インストール先を確認し、Next > をクリックします。

   Change... をクリックすると、インストール先を指定できます。
7. Install をクリックします。
   インストールが始まります。

   Windows Vista™をお使いの場合はユーザーアカウント制御画面が表示されることがあります。「許可」をクリックします。
8. Finish をクリックします。

これで、EZVirtual Cam がインストールできました。

EZVirtual Cam の起動

EZVirtual Cam は、Windows からはビデオデバイスとして認識されています。そのため EZVirtual Cam をスタートメニューから任意で起動することはできません。ビデオデバイスを使用するプログラムで EZVirtual Cam を指定すると、Windows 側でビデオデバイスを呼び出したときに EZVirtual Cam が自動的に起動します。

例えば、Windows Live Messenger をお使いの場合は、「ツール」－「オーディオとビデオのセットアップ」からご接続している Web カメラの代わりに「EZVirtual Cam」を選択すると利用できるようになります。

Macintosh でお使いの場合は、EZVirtual Cam を利用できません。

ここでは、本製品の CD-ROM に添付している AMCAP を使用して、EZVirtual Cam を起動する方法について説明します。

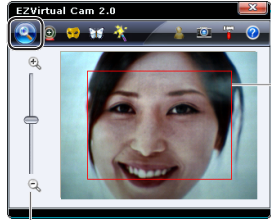
1. 「正しく動作するか確認する」を参照して、AMCAP を起動します。
2. 「Device」メニューから「EZVirtual Cam」をクリックしてチェックマークをつけます。

3. 「Option」メニューから「Preview」をクリックしてチェックマークをつけます。
   EZVirtual Cam が起動します。

AMCAP の画面には、EZVirtual Cam で指定した Web カメラからの映像が表示されます。

表示する映像にエフェクトを加えたり、映像の一部を拡大して表示する方法については、次の「EZVirtual Cam を使う」を参照してください。

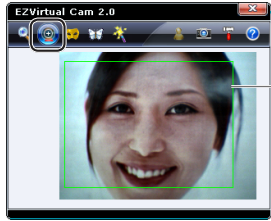
EZVirtual Cam を使う

■一部を拡大して表示する

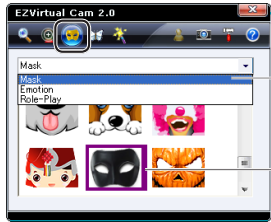
アイコンをクリックすると次の画面が表示され、映像の一部分を拡大して表示できます。

表示する範囲を表します。（赤枠）マウスで表示範囲を移動できます。

表示範囲の拡大・縮小ができます。

■顔の動きに追従して表示範囲が移動する

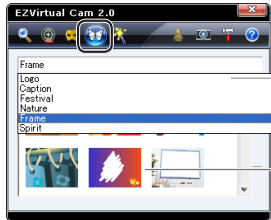
アイコンをクリックすると、画面内の顔を認識し、顔の動きに追従してカメラの表示範囲が移動します。

表示する範囲を表します。（緑枠）頭やアゴ等、顔の一部が画面から外れている場合はうまく顔を認識しない場合があります。

■顔の部分にイラストを配置する

アイコンをクリックすると次の画面が表示され、目にマスクをかぶせたりといった表現ができます。

マスクなどの種類を選択します。

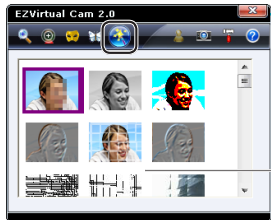
マスクなどのイラストをクリックします。

■映像上にアニメーションや額縁などを配置する

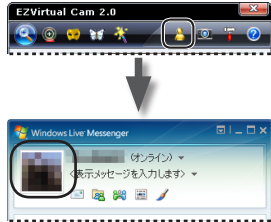
アイコンをクリックすると次の画面が表示され、アニメーションや額縁などを配置できます。

フレームなどの種類を選択します。

配置したいイラストをクリックします。

■映像にモザイクなどのエフェクトを加える

アイコンをクリックすると次の画面が表示され、白黒映像にしたり、顔の部分にモザイクをかけるなどのエフェクトを加えることができます。

エフェクトをクリックします。

■ Windows Live Messenger の表示アイコンを作成する

アイコンをクリックすると、カメラの映像が Windows Live Messenger の表示アイコンとして反映されます。

■表示中の映像を画像として保存する

アイコンをクリックすると、表示中の映像を BMP 形式の画像として保存します。同時に BMP 形式に割り当てられたプログラムを起動して、保存した画像を表示します。

ファイルの保存先を設定できます。次の「EZVirtual Cam の設定を変更する」をご覧ください。

■ヘルプを表示する

アイコンをクリックすると、ヘルプを表示します。

ヘルプは英語表示です。

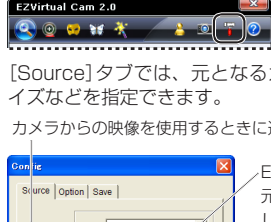
閉じた EZVirtual Cam を再表示するには

ビデオデバイスの使用中に EZVirtual Cam を閉じてしまっても、Windows のタスクバーには EZVirtual Cam アイコンが表示されています。
EZVirtual Cam アイコンをダブルクリックすると、閉じた EZVirtual Cam を再表示します。

イラスト等の機能がうまく使えない場合

一部の機能は顔を認識していない状態ではうまく動作しません。画面内に顔全体が入るように調整してください。

EZVirtual Cam の設定を変更する

アイコンをクリックすると、Config 画面が表示されます。
元のカメラデバイスや画像の保存先などを設定します。

[Source] タブでは、元となるカメラデバイスや映像サイズなどを指定できます。

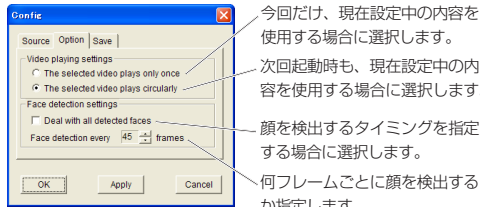
カメラからの映像を使用するときに選択します。

EZVirtual Cam で使用する、元となるカメラデバイスを指定します。

映像サイズを指定します。

動画ファイル（AVI 形式）を映像として使用する場合、動画ファイルを指定します。

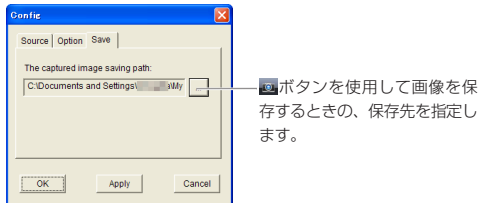
動画ファイル（AVI 形式）を使用するときに選択します。

[Option] タブでは、設定を保存するか、また顔を検出するタイミングを指定できます。

今回だけ、現在設定中の内容を使用する場合に選択します。

次回起動時も、現在設定中の内容を使用する場合に選択します。

顔を検出するタイミングを指定する場合に選択します。

何フレームごとに顔を検出するか指定します。

[Save] タブでは、画像を保存するときのフォルダを指定できます。

ボタンを使用して画像を保存するときの、保存先を指定します。

変更した設定を有効にするには、Apply をクリックします。

設定を破棄して終了するには、Cancel をクリックします。

すべての設定が終了したら、OK をクリックします。

Ez VirtualCam から他のデバイスに変更する場合

Ez VirtualCam の使用をやめ、標準ドライバでの使用に戻す場合、いちどアプリケーションからデバイスを選択したのち、アプリケーションを終了して Windows を再起動する必要があります。

こまったときは

Web カメラの画像を調整したい

画像の調整は、お使いのメッセンジャーソフトなどから呼び出して行います。詳しくは、お使いのメッセンジャーソフトのマニュアルやヘルプファイルをご覧ください。

製品に関するお問い合わせ

【よくあるご質問とその回答】
www.elecom.co.jp/support
こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAX によるお問い合わせ（ナビダイヤル）】
エレコム総合インフォメーションセンター
TEL：0570-084-465
FAX：0570-050-012
［受付時間］
9:00 ～ 12:00　13:00 ～ 18:00
年中無休

USB Web カメラ
UCAM-DLQ30 シリーズ
スタートアップマニュアル

発行　エレコム株式会社
2007 年 4 月 30 日　第 1 版